

## 子宮内膜が薄い人の不妊症

### Point

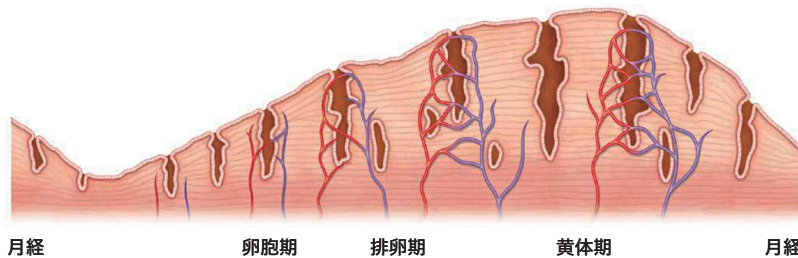
- ① 子宮内膜は、受精卵が着床するために月経周期のたびに厚くなります。子宮内膜が厚くならないと、妊娠率が下がる傾向にあるという報告があります。
- ② 子宮内膜が厚くならない原因には、子宮の手術歴や子宮内膜の癒着（アッシャーマン症候群(\*1)）があります。
- ③ 調整した自分の血液を子宮の中に投与する PRP 療法(\*2)が、子宮内膜を厚くする新たな治療法として期待されています。

### 子宮内膜の厚みとは？

子宮内膜とは、子宮の内側にある着床が起こる部分で、子宮の内側を覆う膜のようなものです。子宮内膜は月経中は薄く、月経が終わって女性ホルモンが増加するとともに、排卵日頃まで徐々に厚みを増していきます。

しかし、妊娠しにくい女性では、排卵日になっても子宮内膜が十分に厚くならない人がいます。子宮内膜が薄いほど妊娠率が下がる傾向にあるという報告があり<sup>1)</sup>、原因には子宮の手術歴（流産手術や子宮筋腫の手術）<sup>2)</sup>や子宮内膜の癒着（アッシャーマン症候群）<sup>3)</sup>などがあります。

子宮内膜の厚みは経腔超音波検査で測定できます。また、アッシャーマン症候群は子宮鏡検査により診断されます。



図：子宮内膜の変化

### 子宮内膜が薄い人の不妊治療

子宮内膜を厚くする治療については積極的な研究が行われていますが、まだ確立された治療法はありません。現状では、女性ホルモンや血流を改善する薬物治療が行われることがあります。また、一部の施設では PRP 療法によって子宮内膜を厚くする治療が行われています。子宮内膜が薄い人やアッシャーマン症候群などにより妊娠しづらい人に対して、PRP 療法が妊娠率や出産率を改善することが期待されています<sup>4)</sup>。

## 用語解説

### \*1:アッシャーマン症候群

炎症などが原因で子宮内膜が癒着して狭くなった状態。不妊症の原因となったり、経血量が減るなどの症状が起こる。

### \*2:PRP (Platelet-rich plasma:多血小板血漿)療法

採取した血液から血小板を多く含む血漿を取り出し、子宮の中に投与する治療法。組織修復を促進する働きがあり、子宮内膜を厚くする作用が期待されている。

### 【参考文献】

- 1) Liu KE, et al.: The impact of a thin endometrial lining on fresh and frozen-thaw IVF outcomes: an analysis of over 40 000 embryo transfers. Hum Reprod. 33: 1883-1888, 2018.
- 2) Azumaguchi A, et al.: Role of dilatation and curettage performed for spontaneous or induced abortion in the etiology of endometrial thinning. J Obstet Gynaecol Res. 43: 523-529, 2017.
- 3) Zhang Y, et al.: Unresponsive thin endometrium caused by Asherman syndrome treated with umbilical cord mesenchymal stem cells on collagen scaffolds: a pilot study. Stem Cell Res Ther. 12: 420, 2021.
- 4) Kusumi M, et al.: Intrauterine administration of platelet-rich plasma improves embryo implantation by increasing the endometrial thickness in women with repeated implantation failure: A single-arm self-controlled trial. Reprod Med Biol. 19: 350-356, 2020.